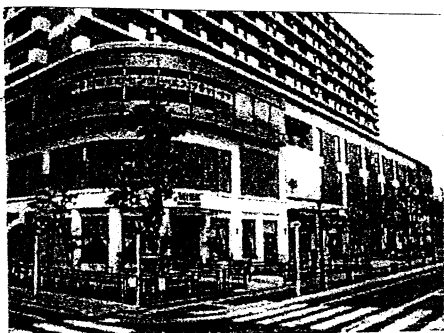


3年間で破綻した計画 からの再生視察 **佐賀市**



岐阜市議会都市活性化特別委員会「佐賀市の街なか再生計画事業など」の視察に参加させて頂きました。写真は1～3階はスーパー等商業施設で4階以上は住宅のビルを自治体も関係して建設したら3年で破綻。4年間閉鎖されていたビルを再生（平成19年）。現在は4千人（日）来館で成功との説明。以前の3年で破綻の原因を聞き

漏らしました。ただ、失敗の判断が3年で出来たのは「素早い」と感心。失敗を認めながらも、深みにはまる事業も多いと思います。ただ、視察時の人影は疎ら。

写真・「エスプラッツ」1階 生活必需品商業ゾーン 2階 医療・子育て支援・公共ゾーン
3階 佐賀新聞文化センター中心の文化ゾーン

『運営会社の破綻により約4年間閉鎖』されたビルだが、いずれにせよ事業計画に丁寧さが欠けていたのだろう事は想像出来る。高島屋南ビルの『プール計画』を思い出す。

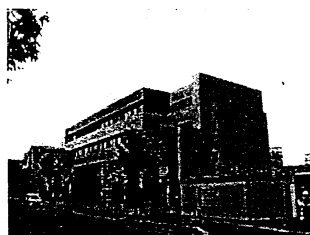
公共公益施設の誘致場所の**少ない駐車場**に課題も

公益施設の建替え時期を捉えて、市街地に共同ビルとして誘致事業を展開されています。ただ、取り付け道路が狭く、自動車由来館は不便では？と思われました。駐車場台数は明らかに少なく「どうしていますか？」と質問すると、何時もいっばいで、近くの民間駐車場を利用して頂いています。」と回答。

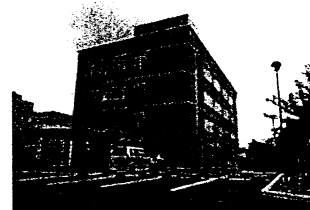
バルーンフェスタ事業の歴史には興味深い点がある。説明者は「通年事業ではない」点が課題。「数日のために宿泊施設を建設する事も出来ない」との説明でした。でも、佐賀市の世界への宣伝効果は大きい。

公共公益施設の誘致

パスポートセンター、ハローワーク佐賀、佐賀県国民健康保険団体連合会等



ハローワーク佐賀



佐賀県国保会館



佐賀商エビル



佐賀バルーンミュージアム

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

佐賀市民は**レンタサイクル**を利用していない

佐賀市での視察で、解かった事は再生事業の担当部が岐阜市で言えば、企画部とか商工観光部に相当する部が担当されている事。これらの事業はハードより他機関との調整機能等ソフト面が課題と思われました。関連してレンタサイクルの担当部を聞きましたら、岐阜市の商工観光部のようでした。「市民利用度」をお聞きしましたら「佐賀市民は乗りません。1人1台持ってますから。」「観光客と事業者です」(佐賀市)。

松原のりかずは以前から主張していますが、岐阜市も「市民の交通対策」との考え方を見直し、担当部も変更すべきと感じました。視点がずれています。



松原のりかず
☎058-253-2500